



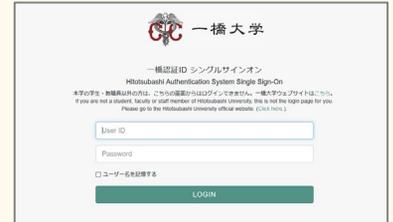
## キャンパス外からの リモートアクセスの 方法が変わりました。



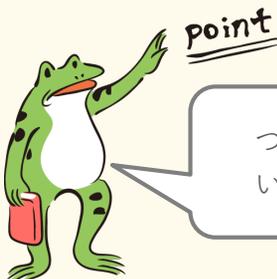
9/6（火）に、キャンパス外から電子リソースを利用する場合に必要なリモートアクセスシステムを更新しました。MyLibraryログインおよびリモートアクセスデータベースメニューの表示は必要なくなりました。

### 新アクセス方法

- 1 図書館の各検索システム\*から、利用したい電子リソースを検索
- 2 電子リソースへのリンクをクリック\*\*
- 3 一橋認証IDシングルサインオンのログイン画面が表示されるので、一橋認証IDとPWを入力してログイン\*\*\*



- \* HERMES-Search、HERMES-Catalog、電子ジャーナル・電子ブックリスト、データベースリスト
- \*\* 契約上、キャンパス外から利用できない電子リソースもあります。
- \*\*\* ログアウトボタンはありません。利用が終わったら、必ずブラウザを終了させてください。



つまり、キャンパス内ネットワークから使う場合とほとんど同じということ。間に認証が必要になるということを覚えておいてね。

### 便利なところ

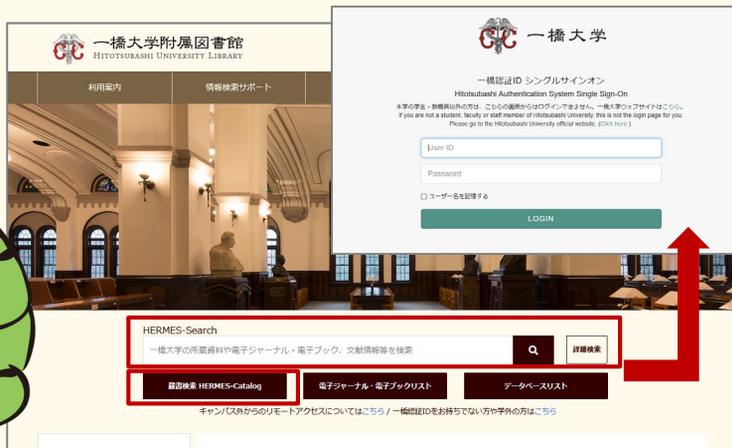
- ✓ 一度ログインすると、ブラウザを閉じたり一定時間無操作の状態が続いたりしない限り、追加の認証なしで利用できます。 MyLibraryやCELS、manabaにログインしている場合も、追加の認証なしで利用できます。
- ✓ 特別なブラウザの設定は不要です。これまでの設定（「opac.lib.hit-u.ac.jp」のポップアップを許可）は、解除して差し支えありません。

## 附属図書館ウェブサイトトップページの仕様変更

キャンパス外からのアクセス方法の変更に伴い、附属図書館ウェブサイトトップページの検索ボックスの仕様も変更となります。キャンパス外から検索ボックス（HERMES-Search）や「蔵書検索 HERMES-Catalog」ボタンを利用した際にも、一橋認証ID シングルサインオンのログイン画面が表示されるようになりました。

ログインすることにより、利用可能な資料や文献の検索漏れがなくなります。

こちら、間に認証が必要になること以外はキャンパス内ネットワークから使う場合と同じ。検索キーワードは引き継がれるから安心してね。



## もっと知りたい

各検索システムの検索結果からリモートアクセスの可否を判断する方法など、詳しくは以下ご覧ください。

附属図書館ウェブサイト>情報検索サポート>電子リソースポータル>リモートアクセス

[https://www.lib.hit-u.ac.jp/retrieval/e\\_resource/remote-access/](https://www.lib.hit-u.ac.jp/retrieval/e_resource/remote-access/)



お問い合わせ先

電子ジャーナル/DBお問い合わせフォーム

<https://www.lib.hit-u.ac.jp/contact/contactlist/ejdb/>



## 新規導入データベース紹介

### Financial Times Historical Archive 1888-2021, Supplement 2017-2021

Financial Timesの電子版。世界で最も権威のある日刊経済紙のアーカイブです。今回のSupplementの購入で1888年の創刊号から2021年分まで電子で読むことができるようになりました。ぜひご利用ください。

**【キャンパス外アクセス可能】**

ご利用は、一橋大学附属図書館データベースリストから

<https://opac.lib.hit-u.ac.jp/opac/gateway/> ※QRコード⇒

